

平成26年10月26日の日曜日、兵庫県西宮市の武庫川下流国道43号線近くのサイクリングロードを20台のタンデム自転車（二人乗り専用自転車）が駆け抜けました。

「NPO 法人兵庫県障害者タンデムサイクリング協会」が主催する「兵庫タンデムサイクリングを楽しむ会」17年続いているタンデム自転車サイクリング大会です。

何度も参加しているリピーター、愛車を持ち込み御主人がパイロットの御夫婦、初めてのこどもたち自転車で風を切る楽しさを味わっていただいていたのは約30人の視覚障害をはじめとする皆さん見学者の飛び入り試乗も有り150名以上の皆さんがタンデム自転車の楽しさを認識しました。

■10/27 読売新聞阪神版

35 地域

2014年(平成26年)10月27日(月曜日) 読売新聞

風を切り、自転車のタンデム走行を楽しむ
参加者たち（西宮市の武庫川河川敷で）

視覚障害者らサイクリング



西宮 健常者と「タンデム」満喫

目の不自由な人が健常者
とペアを組み、「タンデム」
と呼ばれる二人乗り用自転
車でのサイクリングを楽し
むイベントが26日、西宮市
東鳴尾町の武庫川河川敷で
行われた。

目撃したところ、NPO
法人「県障害者タンデムサ
イクリング協会」（西宮市）
が毎年スポーツの秋に開
き、17回目。県内外から視
覚障害者30人と、ボランテ
ィア100人が参加した。

タンデムはペダルとサド
ルが縦並びに二つずつある
のが特徴で、健常者が前、
視覚障害者が後ろに座って
次々とスタート。秋晴れの
下、参加者らは2時のコー
スで会話を楽しみながらペ
ダルを踏み込み、心地よい
汗をかいていた。

先天性の弱視という尼崎
市の会社員、富永久美子さ
ん(59)は「自転車に乗った
のは数十年ぶり。タイミン
グを合わせてペダルをこぐ
のが楽しくて、思わずスピ
ードを出してしまいました
」と笑顔。

同協会によると、県内
では2008年からタンデム
での公道走行が可能にな
り、この動きは全国的に広
がりつつあるという。横井
昌市副理事長(61)は「タン
デムは視覚障害者の行動範
囲を広げ、笑顔にしてくれ
る。イベントを通じて普及
させていければ」と話して
いた。

阪神

阪神支局
☎0798-67-2155
FAX 67-2156
〒663-8204
西宮市高松町5-39
なでしこビル7階
ホームページ
<http://www.yomiuri.co.jp/local/hyogo/>
電子メール
hanshin@yomiuri.com
三田支局
☎079-564-6613
FAX 564-6616
〒669-1529
三田市中央町4-5

■NPO 法人兵庫県障害者タンデムサイクリング協会事務局

〒662-0823

兵庫県西宮市神呪町 8-36 喫茶・笹舟倶楽部 店主:横井昌市

<http://sasafune.jimdo.com/>

<http://www.sasafune.com>

<http://nishinomiya.areablog.jp/sasafune>

<http://www.kepco.co.jp/kankyounatural/people/0904.html>

携帯: 090-6736-4513

tel : 0798-20-4653